

46トン不法投棄の疑い

県警 建設業者2人を逮捕

伊勢

【伊勢】県警生活安全部生活環境課と伊勢署は一日、廃棄物処理法違反（不法投棄）の疑いで、伊勢市中村町桜が丘の土木建築業

吉川新衛門容疑者（みせと）、多気郡明和町南藤原の建設業西山建材社長の西山輝容疑者（みせ）を逮捕した。逮捕容疑は、共謀して昨

年十二月中旬ごろから同下旬ごろの間、伊勢市二見町光の街豆石山の他人名義の土地と、同町光の街鱒原の市道合計約百五十五平方

に、火災後の家屋や外構の解体による廃材やコンクリートのがれきなどの廃棄物約四六・四トンを捨て、埋め立てた疑い。両者は容疑を認めているという。

県は今年四月に匿名の通報を受けて両容疑者に投棄物の撤去を指導していたが、従わなかった。吉川容疑者は、十年ほど前から現場に隣接する土地を借りている。進入路には進入禁止

の看板があり、他人の土地をごみや土で埋め立てていたらしい。市道は使われていなかったため、草地状態で、借地に隣接する一部が庭のように整備されていた。

同署によると、ごみを埋めた深さは約二メートルに及び、埋め立てで借地との高さを合わせていたとみて、詳しく調べている。



不法投棄のがれきを掘り起こした現場。奥が市道と吉川容疑者の借地＝伊勢市二見町光の街豆石山で